

トムトム通信



ゆうゆうクラブ♪

本号の内容

ゆうゆうクラブ冬特集	1
えぼっくハウス冬特集	2
からんころん,ゴロゴロクラブ, とむ郎冬特集	3
あいあいクラブ冬特集,新人紹介	4
避難訓練報告	5
アメニティフォーラム研修報告	6
アメニティフォーラム研修報告, 寄贈・助成決定	7
リレートーク	8,9
株式会社湘南ビジネスマネジメント 代表取締役 野田周吾氏 公益事業部部門長 後藤朋弘氏	10
研修報告	11
賛助会員,編集後記	12

☆クリスマス会☆

どんなプレゼントが釣れるかな??
わくわく♪



みんなでケーキ作り♪



クリスマスプレゼントゲットしました～♪♪

☆初詣☆

今年も皆が元気で過ごせますように・・・♪



カラン☆
カラン☆



大きな鐘をおもいっきり鳴らしまーす!!

☆節分☆



鬼は外!
福は内!



えぼっくハウス 生活介護 & 就労移行

☆クリスマス会☆



ハーモニカ演奏会では、演奏にあわせて一緒に歌ったり飛び跳ねたり手拍子をしたりと皆さんとても楽しくキラキラした表情で過ごしており、とても盛り上がっている様子でした。
ケーキ作りは南原を拠点に集まり飾り付けをしました。みんなで協力し、楽しんでケーキ作りをしていました。

祝☆成人

成人を迎えた利用者さんに寄せ書きの色紙をプレゼント♪
お昼にはバイキングに行き自分で選んだご飯を食べました。
おめでとうございます！！



☆節分☆

2月4日に豆まき大会を行いました。
えぼっくハウスに現れた鬼に豆をまき、これから始まる新しい一年に不幸や災いがないようにお願いしました。



☆慰労外出☆

日頃の勤労を労わり、鎌倉へ慰労外出に行ってきました。みんなで電車に乗りたくさん歩いて思い出を作ってきました。



☆初詣☆

前鳥神社に初詣に行き、一年無事に過ごせるようにお参りして来ました。



からんころん



1年目のからんころんでは、季節の行事は初めての連続でした。クリスマスは、えぼっくハウスのみなさんとハーモニカ演奏会に参加して、昼食はフライドチキン！午後にはクリスマスリースを作り、25日にはサンタさんからのクリスマスプレゼント♪嬉しいことがてんこもりで、とってもハッピーなクリスマスでした♪年が明け、近所の神社に初詣に行ったり、新成人のお祝いがあったりとわくわくした1年の幕開けです。

ゴロゴロクラブ



手作りのクリスマスツリー♪



夏の暑さも和らぎ、涼しくなってきた秋は出かけ日和！

里山公園や海浜公園、交通会館、引地川親水公園、浄見寺・・・いろんな所に出かけました！

待ちに待ったクリスマスでは、みんなで準備した色とりどりのツリーを飾り、サンタさんからのプレゼント、ケーキ作り！また来年も楽しみます！



とむ郎

大掃除&懇親会



ただいま～！

12/12(土)、とむ郎の入居者のご家族、職員が集まり年末の大掃除を行いました。

日頃の掃除では行き届かない場所もきれいに。普段は掃除なんて眺めているだけの利用者さんも、この日は一緒になって手伝ってくれました。

掃除のあとはお昼ごはん。お母さんたちが作った焼きそばはおいしいけれど、いつもよりスッキリと感じるとむ郎の'リビング'で、ご家族の方がごろっているのには心なしか緊張気味？の利用者さんでした。



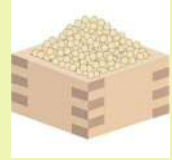
あいあいクラブ

☆クリスマス会☆



今年もあいあいにはサンタ・トナカイが登場!?してプレゼントをもらって、ひとりひとり記念撮影。驚いてしまう利用者さんもありましたがプレゼントをもらうと笑顔を見せてくれました。シャンメリーで大人っぽく乾杯し、利用者さんからも大好評なクリスマス会になりました。

☆節分☆



新拠点になり半年が過ぎました。未だに不十分な点があり、バタバタと毎日が過ぎていきます。

…と思うのはスタッフの方で、利用者さんは毎日違う表情や行動を見せてながら、新しい場所にも柔軟に対応して成長する姿を見せてくれます。活動内容も少しずつ変わっていますが、めまぐるしい日々の中、利用者さん・スタッフみんなで日々あいあいらしく季節の移り変わりを楽しんでいきます。

新人職員紹介

ふりがな	いとう まこと
氏名	伊藤 誠
所属	えぼっくハウス
趣味	野球, 映画鑑賞
座右の銘	Festina lente (ラテン語です)
ストレス発散方法	愛猫をなでる
好きな食べ物	チーズケーキ
紹介文	新たな出会いに感謝して、皆さんといろいろな事に挑戦し、たくさんのお事を経験したいと思っております。どうぞよろしくお願い致します。



ふりがな	わしお みゆき
氏名	鷲尾 みゆき
所属	本部
趣味	旅行, 山のぼり
座右の銘	身土不二
ストレス発散方法	歩くこと
好きな食べ物	その季節の食べ物
紹介文	みなさまのお名前を一日もはやく覚えてお役に立てるように頑張ってます。宜しくお願いいたします。

《避難訓練の取り組み》

～ご利用者・職員全員の命を守るために～

最近、各地で地震や火山の噴火などの自然災害が多発しております。いつ、どのような災害が起きるか予測できない為、当法人では、万が一に備えて避難訓練を実施しております。

しかし、いざ災害が起きると、訓練をしていてもマニュアル通りにはならないことが想定されます。ご利用者と職員、全員が無事に避難できるよう体で覚え、命を守るための訓練を今後も行っていきたくと思っています。

今回は11月に実施した地震発生を想定しての各事業所の避難訓練の様子をお伝えします。

各事業所の感想や反省点

- 靴を履く作業に時間が掛かり、玄関出口で渋滞があった。
- 避難経路は外灯が少ない為、夜間に差し掛かることを想定し、次回は懐中電灯等を確保して実施する。
- ご利用者は、想像以上に動いてくれた。
- 一時避難場所と二次避難場所で点呼を取れたのは良かった。
- ヘルメットを被せる際に個人単位でサイズが合わず、時間を要した。
- 防災頭巾やヘルメットを嫌がるご利用者がいる為、防災品に工夫が必要な事が分かって良かった。

上記の反省点や経験を活かし、2月には火災を想定した避難訓練及び、実際に119番通報を行う通報訓練を実施致しました。



アメニティフォーラム研修報告

今年も滋賀県の天津プリンスホテルの研修施設で開催された障がい福祉を中心とした研修会に2泊3日で参加してきました。障がい福祉に携わる方が国の、地域の、現場の問題や課題について、熱い議論を交わし合い、多いに盛り上がりました。今回、トムトムの職員として福祉の現場で働く思いや、研修で感じてきたことを、報告としてご紹介いたします。



今回2月5日〜7日に、滋賀県大津市で開催されました「アメニティフォーラム20」に参加させて頂きました。会場内はいくつものホールで障がい福祉に関する講義・グループワークが行われたり、ロビーでは「ポスターセッション」と言われる、各事業所がそれぞれのブースで、日々利用者さん達と共に製作されている品物の展示・販売が行われていました。我々トムトムもエコポットやビーズ・プラのキーホルダー、くるみボタンの髪留めを展示し、他の事業所の方の中には、私共の商品にとっても興味を持たれ、製作方法などを熱心に聞いてくださる方もいらっしゃいました。

さて、3日間みっちり研修に参加した中で特に印象に残りましたお話しは、重度の自閉症でありながら母親が作成した文字盤を指示する方法で自らを表現する東田直樹さんのお話しでした。彼が語ったのはみんなと同じことができない苦悩や孤独感、両親からの深い愛情、パニックになる苦しみ、想像力と文字盤ポインティングによって思いを表出できるようになるまでなど、多くの事を我々に語ってくれて、とても考えさせられる内容でした。なかでも「パニックにならない毎日を目指すのではなく、その人らしい生き方ができるように、一緒に頑張っただけでなく、その人らしい生き方が残りました。また講演後の参加者からの質問では、「幸せと感ずることは？」に対して、「家族で笑ったり、おしゃべりしたり、なにが楽しいというより、毎日普通の生活ができることに幸せを感じています」と仰っていました。

この講演を聴いて、私もえぼつくハウスに通ってくださる皆さんと、何気ない毎日のなかでも一緒に笑い、ときには一緒に悩み、そしてゆっくりゆっくり、その人のペースと一緒に成長していけたらと強く感じました。

また今回参加させて頂いたことで、当たり前なのですが日本全国にこの福祉の社会で従事されているたくさんの方々がいて、様々な側面からの支援を行い、障がいがあっても共に生き共に支えあい、みんなが幸せを実感できるような社会を作ろうと、同じ方向を目指している多くの熱い思いに触れたことで、今後の活力をもらえた気がしています。

えぼつくハウス所属 鳥海 剛



全国から多くの事業所、講師の方々が見えられた事にまず驚きました。講習ではグループワーク講習を受けとても貴重な体験をする事が出来ました。

又、各事業所の支援の取り組み、課題等のお話も聞く事ができました。共通している事は、課題に対してのチームを組み情報共有をして、利用者さんに対しての関わり方を細かに記録として残している事で、このことの重要さを改めて認識する事が出来ました。私自身も職員との情報共有に力をいれているところですので、アメニティフォーラムで学んだ事を上手く活かしつつ、出来ることから進めていけるよう頑張っていきたいと思います。

また、講師の方が言われていた「1割バッターの意地」という言葉も印象的でした。

野球で例えるなら3割バッターはとても凄い選手。10回に3回ヒットを打てれば凄い。支援でも10回中、7回は疑問や失敗などもあるかと思うが、3回良い支援が出来たら凄い事。1割バッターでも9回打てなくとも1回はヒットが打てるのだから、凄い。

残りの9回の疑問や失敗を糧に、続けて行く事（向き合う事）が重要だとおっしゃっていました。

私も今は1割バッターかも知れませんが、残りの9割に対してまわりの職員と考えながら、成長できたらと思います。

貴重な勉強をする機会を与えてくれたことにも感謝しております。



ゆうゆうクラブ所属 尾迫 裕人



2泊3日、泊り込みでの研修は生まれて初めての体験でした。滋賀県の琵琶湖の辺にある、大津プリンスホテルという巨大な会場に、全国津々浦々から様々な形で福祉に関わる人たちが集まってきました。

3日間過ごしたその会場を一言で表すなら“熱気”という言葉が適切でしょうか。人の多さによる熱、テーマについて熱く語る講師、またそれを貪るように聞く受講者達の真剣な表情・・・この異様な雰囲気は一度味わって見ないと実感できないかもしれません。朝の8時30分から深夜の12時30分までびっしりと埋め尽くされたプログラムも、なかなかお目にかかれるものではありません。

そんな盛りだくさんのプログラムの中で、私が特に関心を持った研修「行動障害がある人の支援が苦手な人のためのゼミナール」について紹介したいと思います。

研修は3部に分かれ、休憩を挟んで10時間にも及ぶ内容でした。1部目は強度行動障害支援者養成研修のテキストにも選ばれている、「行動障害のある人の「暮らし」を支える」の編集者4名の方々によるテキストの解説、2部目は4名の方々それぞれに「まだまだ現場で困っていること」をテーマにお話していただきました。

3部目は全国で強度行動障害を抱える方の支援を行っている5つの法人からの実践報告で、グループホームや生活介護、就労継続支援B型など、実際にトムトムと同じ福祉サービスを行われている方の報告もあり、非常に勉強になる内容でした。

3日間の研修を終えて、今まで経験した事が無いような不思議な感覚を覚えました。アメニティフォーラムを取り巻く“熱”に3日間晒されたせいもあってか、軽い湯あたりにも似た感覚です。

最終日には雪もちらついていましたが、その“熱”を逃がすこと無く、日々の支援に役立てて、これからの活力にしていきたいと思っております。

からんころん所属

和田エンデルレ 星治郎

☆寄贈・助成決定頂きました☆

赤い羽根共同募金様

原田積善会様

赤い羽根共同募金様よりご推薦頂き、原田積善会様より、さをり織り機3台と、糸類の助成決定を頂きました。生活介護事業所の作業で活用させて頂いております。



日本財団様

今年度も、日本財団様より車両の助成決定を頂きました。今後も、利用者様の安全な送迎に努めて参ります。



TechSoup Japan様

今年度も、以下のパソコンソフトの寄贈決定を頂きました。寄贈頂いたソフトは法人内のパソコンセキュリティ強化、事務作業や広報誌作成の際に活用させて頂いております。



Symantec Endpoint Protection
Small Business Edition



Windows OS Upgrade



Acrobat XI Pro Win ESD (Japan)

リレートーク



我が家の長男、見入の13年間の歩みを振り返って
み入っと思ひます。

小さい頃は、おしゃべりが好きでよく笑う子でした。
2才の頃から言葉がどんどんとなくなり、笑顔が消え去り
3才の時に「自閉症」と診断。しかも「他の自閉症の子より
成長が遅く、大人になっても出来ない事の方が多くなるし
と言われました。この子には自分しかいないと思ひ
一生懸命に色々な事を教えました。小学部に入學した頃、
「僕は学校でも家でもいつも頑張っているのに...どれだけ
頑張ればいいの？」と言葉のない息子が夢の中で私に
話しかけてくれたのです。そんな時あーあーに泣いて
それ家はくつろぎの場所になりました。

あーあーは、お着替えやトイレトレーニングや耳かきなど
色々な事を教えていただけず出来ることが多くなりました。
何より自分の気持ちを表現することが上手になりました。
また、お友達と一緒に公園に遊びに行く事が楽しみの
1つです。やはり社会で生きる事は大切だなと思ひました。
昨年の4月に中学部に進學した時は、環境の変化で
どうなるかな?と心配しましたが、学校→あーあー→家
という、いつもと同じ生活リズムのおかげで、気持ちか

安定した毎日を過ごすことができました。今も楽しい
学校生活を送っています。

見入にとってあーあーは第2の我が家で、スタッフの方々
育ての親のおま存在です。やましく時は日散しく、
いつもあーあーに会う見入、ありがとうございます。
安心して過ごす居場所がある見入は幸せだと
思ひます。本当に感謝しております。これからも、
よろしくお願いいたします。



リレートーク . . ☆



我が家の第二子、和之は平成11年9月に生まれました。幸い健康に恵まれ、今まで大きな病気もすることなく育ってきました。満一才頃までは離乳食の進み方が少し遅いなあ位な感じでした。その後「子供の成長は個人差が大きい」とよく言われているその言葉の範疇なのかどうか?!との疑問を抱きながらの子育てが続くうちにやがて、個人差という単語では済まされなくなりだんだん独自の成長を遂げていくことになりました。

小さい頃の和之は特に強いこだわりや主張が少ないものの、思いのままに行動してしまうことがよくあったので目が離せない感じでした。外出時のプチ迷子は数知れず。迷子、というより脱走(歩)で110番のお世話になったこともあります。

年齢を重ねるにつれ和之自身が「はぐれたくない」気持ちが育ってきたようで、小さい頃のような迷子状態はなくなりました。が、年齢相応とは言い難い幼い言動や独特な身の振舞いが目立つようになり、その意味でもうしばらく目を離さない方がいいなと感じてきているこの頃です。

私達親子は外出の時には、和之の言動が周囲の人に不快な思いをさせたり迷惑かけたりしないように気を付けるようにしたいと思いつつも、ヒヤッ・ドキッしたり、恥ずかしいような思いをしたりしてきました。でもそれらの経験が和之や周囲の人達の学習?!免疫?!となり、一緒に居合わせてもお互いより平穏で居られる事につながっているのでは、と感じています。ゆうゆうクラブやぶんぶんのスタッフの方々は、そんな私達を上手に支えて下さって、おかげさまで親子共に、無事に楽しく日常生活を送ることができています。これからもまだまだお世話になりますが、どうぞよろしく願い致します。

ゆうゆうクラブ・ぶんぶん 安村 和之



Logical会議を始めて1年以上が経ち、その後の経過と今後



株式会社 湘南ビジネスマネジメント
代表取締役 野田 周吾氏

いつも大変お世話になっております。

前回のトムトム通信に掲載していただいた原稿を書いたのが2015年1月でしたので、あっという間に1年が過ぎてしまいました。

現在も「Logical会議」という集まりを毎月開催し、「想い」を柱としながらも「論理的」に考えることができ、実行できるようになるために、数名のスタッフの皆さまと会議を行っています。

この間、「トムトムの強み・弱み」「トムトムにとっての機会・脅威」や「トムトムにおける問題点」などをLogical会議のメンバーの皆さまと一緒に話し合ってきました。たった十数名の話し合いでさえ、「まとまる」ということはなかなか難しいものです。ましてや、百数十名の皆さまともなれば、話し合いが「まとまる」のはさらに難しいことだと思います。

ここで、皆さまにひとつ質問があります。

日頃いろいろな出来事（共にはたらく仲間・ご利用者・ご家族の方・行政、地域の方等との間で）があると思いますが、常に「なぜか？」ということを考えていますか？この「なぜか？」ということ、常に考えるということとはとても大切なことです。なぜなら、出来事には必ず「原因」と「結果」があるからです。

つまり、「なぜか？」（原因）ということを考えないと、いろいろなこと（結果）がうまくいきません。そして、うまくいかない、何より「楽しく」ありません。そのためにLogical会議を行ってきました。

これから、「ヒト・モノ・カネ」について様々な施策を実行していくこととなります。（この順番が重要です。一番は「ヒト」です。）トムトムではたらく皆さまが、「なぜか？」ということ、常に考え、知恵を出し合って、実行することが、とても大切だと思います。そうすれば、「ヒト・モノ・カネ」がうまくつながるようになります。そして、何より皆さまが、はたらくやすくなり、はたらくことが楽しくなります。

私たちも、引き続きトムトムではたらく皆さまを思いながら、少しでもサポートできるように、精一杯がんばりますので、今後ともよろしくお願ひいたします。

この1年、トムトムを見てきた印象



株式会社 湘南ビジネスマネジメント
公益事業部部門長 後藤 朋弘氏

いつも大変お世話になっております。

前回のトムトム通信ではインタビュー形式で私の紹介を掲載していただきました。少々頼りなく（？）感じられたかと思いますので、今回は挽回できるよう原稿を書かせていただきます。

私たちは現場の皆さまとは直接お話しをする機会は少なく、バックオフィス（会計業務等）のお手伝いを通じて皆さまの「頑張り」・「想い」を拝見しております。

平成27年度は法人本部事務所の移転、「からんころん」・「トムトム相談室」の開所、「トムトム青果店」のオープンとトムトムにとって新たなスタートをきりました。

通常、新規事業を開始すると軌道にのるまでに時間が掛かり、初年度から結果が出るのにかなりの努力を要します（特に相談室・青果店はトムトムにとって初めての事業）。

さらに前年度は少々厳しい決算であったことや報酬改定の年度であることから、平成27年度はガマンの1年になるのかな…とっていました。

しかし、平成27年度が9か月を経過して、皆さまの頑張りがしっかりと会計の数字に表れていることに驚いています（行政、利用者から求められるもの、法人の目標はもっと高いと思いますが）。

法人本部との会計会議やLogical会議に参加させていただいても、トムトムではたらく皆さまが法人を支えていることが伝わってきます（トムトムのような活気あるNPO法人は少ないです）。

これからもトムトムではたらく皆さまを少しでもサポートできるように、精一杯がんばりますので、今後ともよろしくお願ひいたします。

「障害のある人の権利擁護と虐待防止について」

社会福祉法人翔の会 施設長 松永 徹氏

11月16日(月)、翔の会相談支援事業、「とれいん」および「すまいる」の松永 徹さんにお越しいただき、現場実践においての人権擁護についてお話いただきました。

研修は職員一人ひとりが持つ「何を目的に支援をするのか」「支援にあたって何を大切にしているか」という、支援の原点への問いかけから始まりました。大きくまとめれば、ご利用者のため、という思いは共通していても、それぞれに出てくる言葉は多様で、それが絡まり合っただけで日頃の支援が成り立っていることを改めて気づかされました。

「ノーマライゼーション」「ストレングス」といった言葉を視点に、権利擁護をどう考えるか、福祉のなかで権利を支えること、広げていくこと、権利の侵害と虐待の防止についてお話をお聞きしました。長年現場に携わっていらした松永さんの言葉に、「日頃の何気ないことが権利の侵害となる可能性をはらんでいることに気づかされた」「ご利用者と対等な目線で接していきたい」「職員間で何でも話し合える環境づくりが大事だと学んだ」と、職員も日々の支援へ意識を強くする貴重な機会となりました。

「感染症予防講習」

ただし
看護師 猪俣 位氏

12月の常勤会議では、えぼつくハウスの職員で看護師の猪俣 位 さんから、感染症についてのお話をいただきました。

来たるインフルエンザなどの流行に備えて、例年予防の心がけや対処法について講習を開いてきていますが、今回はインフルエンザやノロといったそれぞれのウイルスや細菌と罹患時の特徴や症状を具体的に知り、そこからいわゆる「風邪」との違いを見極めることで、正しい対処ができるようになるのではないかと切り口で、感染予防について考えました。

昨年のご利用者・職員ともに多くの方がインフルエンザにかかってしまいました。講習後も職員が3つに分かれてグループワークを行い、それぞれの事業所での取り組みを話し合いました。

手洗いや加湿、換気といった基本から、どのように感染を防ぐか、実際に感染者が出た時の対応を日頃から想定して備えておくなど、大切なことはたくさんあります。ひとつひとつを怠らず、ご利用者と、そして私達も一緒に元気に過ごして、春を迎えられたらと思います。

とむ郎所属 松下 雄亮

「障がいのある子ども・青年の性と生」

通称(旅芸人一座)

日暮 かをる氏・任海 園子氏・永田 三枝子氏

10月の常勤会議では、障がいのある方の「性」についてクローズアップしてみました。性についてと言うと、とてもプライベートな部分であり、我々支援者が日々の支援現場のなかで「こんな場合はどう対応すればいいのかな」など悩みを持っていても、なかなかお互いに率直な意見交換をしづらい内容かなと考えていました。

この研修の講師としてお招きしたのは日暮かをる先生、任海園子先生、永田三枝子先生の三人です。ともに三十年以上特別支援学校にご勤務され、現在は数名で『旅芸人一座』(ご自分の通称だそうです)というグループを作られて、全国いろいろな施設や学校などへ出向いて障がいのある方の教育について講演をされているそうです。

先生方にお逢いしてまず感じたことが、とても明るく、そして用意された資料などはほとんど見られず、先生方ご自身の言葉で軽妙にそして時に力強くお話されていきました。研修のなかでは毛糸で男性器を形作ったものなどを使いながら、先生方が実際の教育現場でどのように子ども達と接してきたかをお話しして下さいました。

お話しの中で印象に残ったのは「行動や言葉の裏側を考え、どんな気持ちで隠れているのか考える。問題と見える行動の中にある、願いを探ることを大事に。」と仰っていました。先生方のお話しの中では「こういう行動の時にはこういう対応を・・・」ではなく、ご利用者の方々一人ひとりの願いや気持ちを汲み取っていくことが大切なんだと感じました。そして、この研修を聴いたことにより、性について支援者間でも考えるきっかけになっていければと感じました。

えぼつくハウス所属 鳥海 剛

* 入会のおすすめ *

賛助会員

トムトムは1997年7月に神奈川県茅ヶ崎市で設立し、現在は茅ヶ崎市、平塚市で事業を行っています。

私たちは、ハンディキャップのある方と、そのご家族のために、さまざまな福祉事業を展開している特定非営利活動(NPO)法人です。設立当時を振り返ればこの18年間、法律が3度も大きく改正され、劇的な変化の連続でした。トムトムはその激しい時代を必死に歩み続けてきました。自主事業だけで運営していた当時に比べれば、現在の運営状態は緩和されてきているものの、現在も法人の運営には、多くの皆様の温かい支援が必要です。

そこで、マネーサポーター(賛助会員)としてトムトムを支えてくださる方を募集しています。年会費は個人会員・団体会員ともに一口3000円からとなっております。会員になっていただいた方には、会報誌「トムトム通信」をお送りいたします。どうぞよろしく願いいたします。

↓トムトムが現在行っている事業↓

事業所名	事業名	対象
えぼっくハウス	■生活介護事業 ■就労移行支援事業	平塚市
えぼハウ	■日中一時支援事業	平塚市
ぶんぶん	■居宅介護事業 ■重度訪問介護事業 ■移動支援事業	平塚市
ゆうゆうクラブ	■放課後等デイサービス事業	平塚市
トムトム相談室	■計画・障害児相談支援事業	平塚市 茅ヶ崎市
あいあいクラブ	■放課後等デイサービス事業	茅ヶ崎市
ゴロゴロクラブ	■放課後等デイサービス事業 ■日中一時支援事業	茅ヶ崎市
からんころん	■生活介護事業	茅ヶ崎市
ケアホームとむ郎	■共同生活援助事業	茅ヶ崎市

特定非営利活動法人

パーソナルサービスセンタートムトム

住所☆〒254-0019 神奈川県平塚市西真土1-7-56

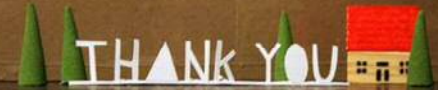
電話☆0463-37-2012

FAX☆0463-79-8528

Email☆houjin@npo-tomtom.com

URL☆http://www.npo-tomtom.com/

寄附・賛助会員



11月~2月

山崎様/濱野様/内田様/原様/白川様/
高橋様/山根様/山本様/岩城様/河合様/
小川様/渡辺様/小林様/石野様/藤田様/
露口様/河野様/飯田様/白濱様/石黒様/
伊藤様/田倉様

* 編集後記 *

今回、リレートークに登場している安村和之さんとはゆうゆうクラブ、ぶんぶんを通して約3年のお付き合いになります。特にぶんぶんでの帰宅支援(約30分の道のり)では、たくさんの方に興味を持ち思いの向くままの行動でしたが、この3年を振り返ってみると協力してくれる姿が目に見えて分かるようになりました。

めまぐるしく変わる時代の中で、子どもたちはゆっくり、そして着実に成長しているんだなあといま実感しております!!
広報委員:石井 学

.....
一昨年に引き続き、昨年末も柚子の収穫お手伝い。

年明け早々、柚子皮ピール作りが始まり、てんてこまいのお正月。

やることは簡単なのだが時間が掛かる。なんせ段ボールひとつ箱分もあるから致しかたない。

手間ひまかかった分だけ、味わいもひとしお。

「あ~この感じ、仕事と一緒にだね」と嫁さんと一笑出来た正月休みでした。

広報委員:岸 文志

